

取扱説明書

ご使用になる前に
この取扱説明書（保証書付）
を最後までお読みのうえ
正しくお使いください。

一般家庭用

コーヒーマーカー CSK-625



も く じ

安全上のご注意	1～3
各部の名称とはたらき	4
使いかた	5～7
お手入れと保管	8～9
故障かな？と思ったら	9
仕 様	10
アフターサービスについて	10

お買い上げいただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書（保証書付）は、大切に
保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じた
とき、きっとお役に立ちます。

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

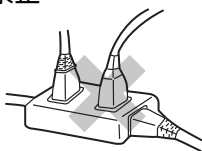


警告



禁止

交流100V以外での使用やコンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしない



●延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセント部が異常発熱して、発火や火災の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の人には、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない

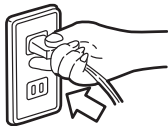


●発火したり、異常動作してけがの原因になります。
※修理はお買上げの販売店へご相談ください。



指示に従う

電源プラグは根元まで確実に差し込む



●感電や発熱による火災の原因になります。



ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない

●不意に動作してやけどをしたり、ショート・感電の原因になります。



指示に従う

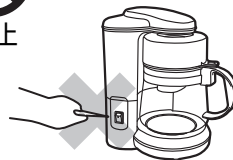
包装用ポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する

●誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因になります。



禁止

開口部やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない



●感電や異常動作してけがをする原因になります。



指示に従う

定期的に電源プラグのほこりを取る。電源プラグにピンやゴミを付着させない




●ピンやゴミが付着したり、ほこりがたまると、感電・ショート・発火の原因になります。また、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグのお手入れは、乾いた布で拭いてください。



警告

<p>! 指示に従う</p> <p>使用中に本体に異常があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none">●感電や発火のおそれがあります。	<p>水ぬれ禁止</p> <p>本体や操作部に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない</p> <ul style="list-style-type: none">●感電・ショート・火災・故障の原因になります。 
<p>禁止</p> <p>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">●感電・ショート・発火の原因になります。 	<p>禁止</p> <p>お子様だけで使用させたり、お子様の手の届くところで使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">●やけど・感電・けがの原因になります。 
<p>禁止</p> <p>カーテンなどの可燃物の近くで使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">●過熱して、発火・火災の原因になります。 	<p>禁止</p> <p>ガラスポットなしで使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">●お湯が噴き出してやけどをしたり、故障の原因になります。 
<p>禁止</p> <p>絶対に空だきしない</p> <ul style="list-style-type: none">●故障や火災の原因になります。 <p>カラ</p> 	<p>禁止</p> <p>水タンクに熱湯や牛乳・ジュースなど水以外は入れない</p> <ul style="list-style-type: none">●故障の原因になります。 
<p>接触禁止</p> <p>使用中や使用後しばらく(約1時間)は抽出口、保温プレートなどの高温部に触れない。手や顔を近づけない</p> <ul style="list-style-type: none">●やけどの原因になります。特にお子様には触らせないようにする。 	<p>禁止</p> <p>電源コードを傷付けたり、破損させたり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない</p> <ul style="list-style-type: none">●また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災や、感電の原因になります。 ※結束バンドは必ずはずす。

注意

<p>! 指示に従う</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く</p> <ul style="list-style-type: none">●感電やショートして発火する原因になります。 	<p>プラグを抜く</p> <p>長時間使用しないときや使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none">●絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。
<p>禁止</p> <p>不安定な場所や熱に弱い敷物の上、湿気・ほこりの多い場所では使用しない</p> <ul style="list-style-type: none">●けがをしたり、火災・感電の原因になります。 	<p>禁止</p> <p>本体の上に乗ったり、重いものをのせない。また本体に強い衝撃を与えない</p> <ul style="list-style-type: none">●破損や故障・けがの原因になります。 

⚠ 注意



**ガラスポットは直火にかけない。
また電子レンジで使用しない**

- ガラスポットが割れたり、
取っての変形の原因に
なります。



**ドリップ中に水タンクふたを開けたり
ガラスポットをはずさない**

- 熱湯が噴き出す
などやけどの原因
になります。



**使用中は本体から
離れない**



壁や家具の近くで使用しない

- 蒸気などで壁や
家具などを傷め、
シミや変形の原因
になります。



**使用中や使用後しばらく(約1時間)は
本体を持ち運んだり、お手入れをしない**

- 熱湯がこぼれたり、
高温部に触れて
やけどの原因に
なります。



指示に従う

**続けてコーヒーを作る場合は、
ヒーターが冷めるまで約5分以上
待ってからおこなう**

- ヒーターが熱いうちに給水したり、動かしたり
すると抽出口から蒸気や熱湯が出るおそれ
があり、やけどの原因になります。



**電源コードを持って本体を引き
ずらない**

- 故障や事故の原因になります。



**本製品は一般家庭用です。絶対に
業務用を使用しない**

- 本製品に無理な負担がかかり、火災
や故障の原因になります。



掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹き付けない

- 変質・破損などによりけがや事故の原因になります。



お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない

- 製品の変質や劣化による故障や破損、けがや事故の原因になる場合があります。
お手入れはぬるま湯か台所用中性洗剤などを使用してください。
※洗剤の種類によっては、台所用中性洗剤でもプラスチック(樹脂)に使用
できないものがありますので、洗剤の注意書きをよくご確認のうえご使用
ください。プラスチック(樹脂)に使用可能な洗剤でも、洗剤分が残って
いると、化学作用によりプラスチック(樹脂)を侵し、破損してけがや事故の
原因になる場合がありますので、お手入れ後洗剤分が残らないようしっかり
拭き取ってください。



安全上のお願い

■ ガラスポットは、落としたり、ぶついたり、乱暴な扱いはしない

ガラスが割れてけがの原因になります。

■ ガラス容器が熱いうちに水の中に入れたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かない

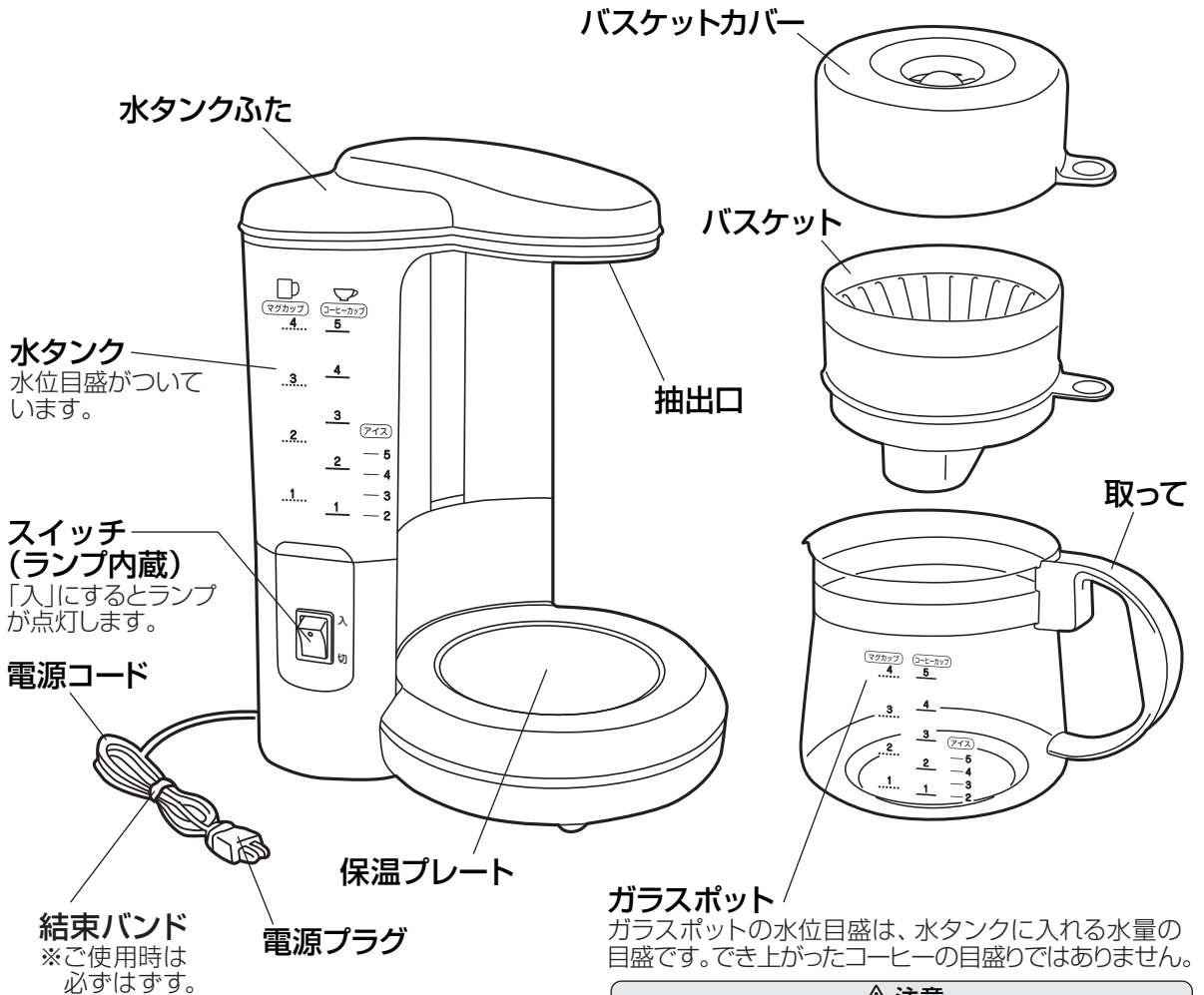
ガラスポットに傷などがあつた場合、急激に冷やすと破損する原因になります。

もし割れた場合は、取り除くときに手を切らないよう十分にご注意ください。

■ 水にぬれた場所で使用しない

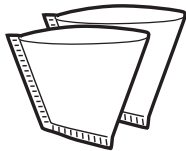
感電の原因になります。

各部の名称とはたらき



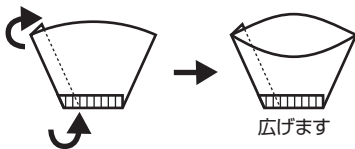
■付属品

- 紙フィルター (2枚)
使い切ったら市販のものをお買い求めください。



紙フィルターの折り方

約1cm内側で折ります。



⚠注意

- ⊘ 禁止
ガラスポットは直火にかけない。また電子レンジで使用しない
●ガラスポットが割れたり、取っての変形の原因になります。

ご使用上の注意

- ガラスポットを落としたり、ぶつけたり、乱暴な扱いはしないでください。
- 本体を持ち運ぶ時は、ガラスポットを別にして運んでください。ガラスポットが落下して破損する原因になります。

やけどに注意

- 使用中や保温時は保温プレートやガラスポットが大変熱くなっています。使用中や使用後しばらく(約1時間)は絶対に触らないでください
やけどの原因になります。

使いかた

- 初めてご使用になる時、また長期間ご使用にならずに保管されていた時は、2～3回コーヒー粉を入れないで水だけでドリップしてください。
- 使い始めのうちは、樹脂などの臭いがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

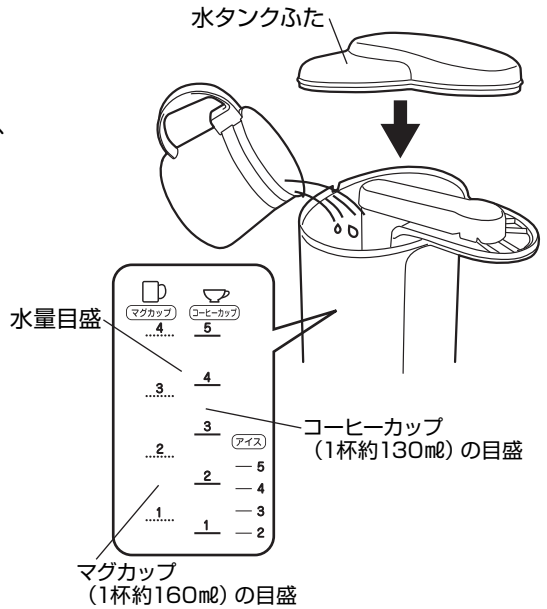
ホットコーヒーの作り方

1 水タンクに水を入れる

- ①お飲みになるカップ分の水を、水量目盛を見ながら水タンクに入れる。(ガラスポットの水位目盛は、水タンクに入れる水量の目盛りです。ガラスポットで計量して水を入れることもできます)
※ガラスポットの目盛はでき上がったコーヒーの目盛ではありません。でき上がったコーヒーは目盛より少なくなります。
- ②水を入れたら、水タンクふたをかぶせる。

ご使用上の注意

- 水量目盛(コーヒーカップ5)を超える水は入れないでください。ガラスポットからコーヒーがあふれる原因になります。
- 安定したところに置いてから水タンクに水を入れてください。
- ミネラルウォーターは湯アカがつきやすいのでおすすめできません。



警告

- ⊘ 水タンクに熱湯や牛乳・ジュースなど水以外は入れない
● 故障の原因になります。

2 紙フィルターをセットし、コーヒー粉を入れる

- ①バスケットの中に紙フィルターをセットする。
- ②お好みの量のコーヒー粉を入れる。
- ③バスケットにバスケットカバーをかぶせる。

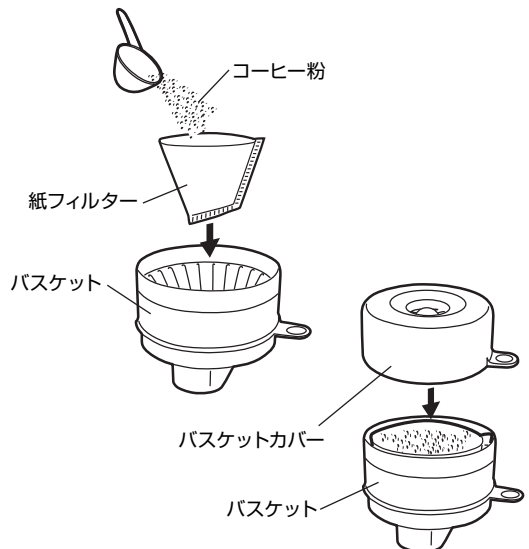
■コーヒー粉の分量(目安)

コーヒーカップ(杯)	1	2	3	4	5
コーヒー粉の量(g)	7	14	21	28	35
マグカップ(杯)	1	2	3	4	
コーヒー粉の量(g)	9	18	27	36	

※コーヒーの種類やお好みによって加減してください。

ご使用上の注意

- コーヒー粉は中びき粉をご使用ください。細びき粉などは目詰まりなどでご使用中にバスケットからコーヒーがあふれることがあります。
- 1～2カップの時は、コーヒー粉を少し多めにに入れてください。
- 45gを越えるコーヒー粉は入れないでください。



使いかたつき

3 ガラスポットを保温プレートにセットする

- ①ガラスポットにコーヒー粉を入れたバスケットをセットする。
- ②ガラスポットを保温プレートの中央にセットする。

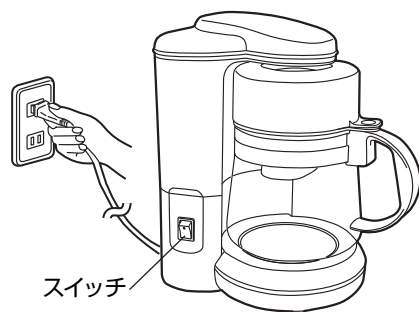
……ご使用上の注意……

- ガラスポットにバスケット、バスケットカバーが確実にセットされているか確認してから保温プレートにのせてください。



4 結束バンドを必ずはずしてから電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチを「入」にする

- ①電源プラグをコンセントに根元まで差し込み、スイッチを「入」にする。
※ランプが点灯して加熱がはじまります。
- ②20～30秒でお湯が出はじめ、ガラスポットにコーヒーが落ち始める。
- ③コーヒーのドリップが終わったら、スイッチを「切」にする。



⚠ 警告



使用中や使用後しばらく(約1時間)は抽出口、保温プレートなどの高温部に触れない。手や顔を近づけない
●やけどの原因になります。特にお子様には触らせないようにする。

⚠ 注意



ドリップ中に水タンクふたを開けたりガラスポットをはずさない
●熱湯が噴き出すなどやけどの原因になります。

……ご使用上の注意……

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチを入れないでください。やけどや故障・火災の原因になります。

5 コーヒーを注ぎます

- ドリップや蒸気が完全に止まってからガラスポットを取り出し、バスケットをはずしてからカップにコーヒーをゆっくり注ぐ。
※バスケットをはずす時はやけどに注意してください。
※この際、抽出口から数滴しずくがこぼれる場合がありますのでご注意ください。



6 ご使用後は

- スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜く。
- ご使用后、長期間使用しない場合は、必ずお手入れをし、乾かしてから保管する。

⚠ 注意



長時間使用しないときや使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
●絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く
●感電やショートして発火する原因になります。

使いかたつづき

アイスコーヒーの作り方

1 水タンクのアイス用の目盛に合わせて水を入れる

水タンクの水位目盛りを見ながら水を入れます。

※ガラスポットの水位目盛は、水タンクに入れる水量の目盛りです。ガラスポットで計量して水を入れることもできます。

※ガラスポットの目盛はでき上がったコーヒーの目盛ではありません。でき上がりのコーヒーは目盛より少なくなります。

2 バスケットに紙フィルターとコーヒー粉を入れる

■コーヒー粉の分量(目安)

アイスコーヒー(杯)	2	3	4	5
コーヒー粉の量(g)	14	21	28	35

※コーヒーの種類やお好みによって加減してください。

※アイスコーヒーは1杯分だけ作ることはできません。

2~5杯で作ってください。

3 スイッチを「入」にする

4 コップに氷を入れて、でき上がったコーヒーを注ぐ

コップの約8分目くらいまで氷を入れて、でき上がったコーヒーを注ぎ、かき混ぜて冷やします。

※アイス専用のコーヒー粉を使用すると、よりおいしくいただけます。

※コップが割れないよう耐熱性のものをご使用ください。

5 お好みにより、シロップや生クリームを加えてお飲みください

こんな時は

保温する時は

ガラスポットをそのまま保温プレートにのせ、スイッチを「入」にします。

※長時間保温しますと、コーヒーの風味を損ないます。保温する場合は15分くらいまでにしてください。

続けてコーヒーを作る時は

ヒーターが冷めるまで約5分以上待ってから『使いかた』の1からの手順でおこなってください。

※ヒーターが熱いうちに給水したり、動かしたりすると抽出口から蒸気や熱湯が出るおそれがあり、やけどの原因になります。

途中で使用を中止する時は

●スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ドリップが完全に終わってから、ポットを取り出してください。

※水タンクに残った水は、本体が十分に冷めてから本体に水がかからないように捨ててください。

お手入れと保管

お手入れや移動の際は、電源プラグを抜き本体や保温プレートが十分に冷めたのを確認してからおこないます。コーヒーメーカーは、飲みものを扱う器具です。ご使用後は必ずお手入れをしていつも清潔な状態で使用します。

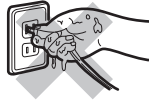
警告



ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない

- 不意に動作してやけどをしたり、ショート・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

本体や操作部に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

- 感電・ショート・火災・故障の原因になります。



注意



禁止

お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない

- 製品の変質や劣化による故障や破損、けがや事故の原因になる場合があります。

お手入れはぬるま湯か台所用中性洗剤などを使用してください。

※洗剤の種類によっては、台所用中性洗剤でもプラスチック（樹脂）に使用できないものがありますので、洗剤の注意書きをよくご確認のうえご使用ください。

プラスチック（樹脂）に使用可能な洗剤でも、洗剤分が残っていると、化学作用によりプラスチック（樹脂）を侵し、破損してけがや事故の原因になる場合がありますので、お手入れ後洗剤分が残らないようしっかり拭き取ってください。



本体・保温プレートのお手入れ

- 水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきんをかたくしぼって拭き取る。落ちにくい汚れは台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯に浸した柔らかいふきんをかたくしぼって拭き、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤が残らないようきれいに拭き取る。
- 本体の丸洗いは絶対におこなわない。



ガラスポット・バスケット・バスケットカバーのお手入れ

- 台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯で、柔らかいスポンジを使って洗います。洗剤が残らないように水で洗い流し、乾いた柔らかいふきんで十分に水分を拭き取って乾燥させます。



水タンクのお手入れ

- 乾いた柔らかいふきんできれいに拭き取る。

お手入れと保管 つづき

お湯の出ぐあいが悪くなったら、下記のように清掃をおこなってください。

お使いになる間に、水質などによって本体内のパイプに湯アカが付き、お湯の出が悪くなる場合がありますので、次のようにして湯アカを取り除いてください。

- ①種と絞りカスを除いたレモンの汁（1個分）と2カップ分の水を、ガラスポットに入れよく混ぜレモン水を作ります。
- ②レモン水を水タンクに入れ、バスケットをセットした後、コーヒーを作る方法で沸かし、レモン水がガラスポットに全て移るまでおこないます。
- ③①、②をもう一度くり返し、ポットに残ったレモン水を捨て、かわりに同量の水を入れ②の動作を2～3回おこないレモンの臭いを取ります。

※レモン汁の代わりに市販の洗浄用クエン酸もご使用になれます。クエン酸をご使用になる場合はクエン酸の注意書きをよくご確認の上ご使用ください。

保 管

- お手入れした後よく乾燥させ、包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ湿気の少ない場所に保管する。（湿ったまま保管するとカビの発生や故障の原因になります。）

故障かな?と思ったら

症 状	原 因	処 置
スイッチのランプが点灯しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	●スイッチが「切」になっていませんか？	●スイッチを「入」にしてください。
	●ブレーカーが切れていませんか？	●ブレーカーを入れてください。
電源プラグが異常に熱くなる	●コンセントの刃受け部がゆるくなっていませんか？	●コンセントをお調べください。
	●タコ足配線や延長コードを使用していないですか？	●コンセントの定格を守り、単独で使用してください。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか？

- スイッチを入れても通電しないことがある。
 - 電源コードの被覆が破れている。
 - 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
 - こげくさい臭いがする。
 - 器具に触れるとピリピリと電気を感じる。
 - その他の異常や故障がある。
- 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

★異常があれば

ご使用中止!

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

仕 様

電 圧	交流100V 50-60Hz
消 費 電 力	625W
製 品 寸 法(約)	幅:190mm×奥行:155mm×高さ:245mm
製 品 質 量(約)	1.1kg
コ ー ド 長(約)	1.0m
容 量	最大水容量 650mℓ (1~5カップ)
方 式	ドリップ式 (保温式)
安 全 装 置	サーモスタット・温度ヒューズ
付 属 品	紙フィルター2枚
製 品 材 質	本 体: PP (ポリプロピレン)
	ガラスポット: ガラス

※製品寸法はガラスポットの取っ手を除いたときの寸法です。

アフターサービスについて

- ①この製品には保証書がついております。
お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。
保証期間中の修理はお買上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理 (有料) についてはお買上げの販売店にご相談ください。
- ④この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載の「山善 家電お客様サービス係」へお問い合わせください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

この製品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。

「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

受付時間:10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

●FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。
その際は、商品名・形名・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

フリーダイヤル
● FAXでのご相談は  0120-680-287

● Eメールでのご相談は info_m@yamazen.co.jp

※お問い合わせの際には商品名・形名をご連絡ください。

J-090204